

# こども通信

## 新年あけまして

## おめでどうございませす。

2022年（令和4年）、新しい年の幕開けです。

皆様にとってこの一年が輝かしい年になることを祈念しております。

＊ ＊ ＊  
一昨年は子どもたちの間で感染症の流行がほとんどなし。外来も病児保育も閑散としていました。

その反動なのか、昨年は夏にヘルパンギーナなどが大規模に流行。秋以降は感染性胃腸炎も大流行です。

患者数が激増すると、通常の医療供給がしづらくなります。これは新型コロナウイルスだけではなくのです。

また病児保育室も定員を大幅に超える利用希望がありました。「断ら



完成と同時に定員の増員を実現しました。

この2年間は新型コロナウイルスに振り回されてきました。今年はどうなるでしょうか。新しいオミクロン株の伝染力はとても強

く、たちまち市中感染から大規模な流行を起こしてしまえそう。怖い事態が待っているかもしれません。

今年「寅年」。力強いです。「虎の威を借りて」コロナを退治できないかな。

でも、「大虎」にはならないよう、気をつけませす！

**塚田こども医院**  
 小児科・アレルギー科  
 漢方内科  
 .....  
 上越市栄町 2-2-25  
 TEL 025-544-7777(代)  
 025-544-7779(保育室)  
 FAX 025-544-8456  
 .....  
 各種ネット予約  
[www.0255447777.com/i](http://www.0255447777.com/i)  
 ホームページ  
[www.kodomo-iin.com](http://www.kodomo-iin.com)

## 感染症情報

11月から12月にかけて**感染性胃腸炎**が大きな流行になりました。保育園での集団発生が主ですが、子どもを介して家庭内での発生もおきています。嘔吐物や下痢便の中に大量のウイルスがあるので、それらの始末は丁寧に行い、手洗いも十分に行ってください。子どもがかかると脱水や低血糖になりやすく、点滴治療が必要になります。ぐったりしている場合はすぐに受診してください。

このほかでは**溶連菌感染症**、**アデノウイルス性咽頭炎**などが少しずつ発生があります。いずれも咽頭痛と発熱が特徴で、登園停止の扱いです。溶連菌感染症には抗菌薬による治療をおこないます。

ほかに感染症の大きな流行はありません。

**新型コロナウイルス感染症**はまた心配な状況になってきました。従来株では県内に小学校でのクラスターが複数発生。当地ではおきていないものの、注意が必要です。

さらに新しいオミクロン株は、世界ではすでに流行の主流になっています。日本では水際対策を強化しているために入り込んでくるスピードが遅いのですが、いずれ大流行（第6波）になることでしょう。重症度は低いようですが、伝染力が強く（倍化速度がわずか2日）、市中感染が本格化すれば、短期間のうちにかつてないほどの規模になる可能性が十分にあります。今後の情報に注視しててください。感染予防策は同じです。マスク、手洗いなど引き続きお願いします。

## <予告> 水曜午後の診療体制変更

- 本年2月より、**水曜午後の診療時間を午後4時～6時**に変更します（現在は3時～6時）。予約制にしませんので、受診希望の方は**直接来院**してください。
- 受付時間は従来通り午後5時45分までです。
- 新型コロナウイルス予防接種を集中的に行うための対応です（成人3回目、5～11歳小児の1、2回目接種が始まります）。
- 応急的な対処が主になりますので、定期受診の方は別の日をお願いします。

## 今月の予定

### 院長・副院長出務

上越市夜間診療所勤務 19日

上越有線放送「健康ライフ」18日

FM上越「Dr. ジローのこども健康相談」

毎週木曜午後1:20頃～(76.1MHz)

### 感染症情報（毎週）

FM上越：木曜午後1:35頃～

上越有線放送：月曜午後6時～（番組内）

医院ホームページ内

## 事故予防

## 冬はやけどに注意を

子どもは発達とともに動ける範囲が拡がり、それに伴って事故の「現場」や種類が変わってきます。最初は赤ちゃんの周りで、ハイハイを始めるのと床の上に置かれたもので。つかまり立ちすればテーブルの上のもので・・・。

また、思わぬことが事故の元になるものです（子育てに想定外はいつものこと）。

季節によっても、起こりやすい事故は異なります。これからの寒い季節では、何といっても「火傷（やけど）」の発生が高まります。

熱い飲食物が食卓に並びますし、ストーブなどの熱源が身近にあります。危険な状況が身の回りにたくさんありますので、より一層の注意が必要です。

## ●事故の例

消費者庁や国民生活センターでは実際に起きている事故例を報告しています。また、当院にもやけどで運

ばれている子どももいます（当院で対応できるのは熱傷の範囲や程度が軽度のものでです）。そんな中からいくつかの気になる事例をお話します。

## ▼炊飯器

炊飯器でご飯を炊いている時に出る蒸気は、見た目より危険。高温の蒸気が強い圧力で出ているため、深いやけどになります。

## ▼電気ポット・ケトル

テーブルの上の湯沸かしポットを転倒させてしまい、熱湯を浴びることがあります。電気ケトルの多くが転倒時の対策がなく、湯がこぼれます。深いやけどが広範囲に起きる可能性があります。

子育て中は、転倒しても湯がこぼれない安全な電気ケトルなどを使って欲しいです。

## ▼電磁調理器（IH）

ガスコンロは炎が見えるので容易に「危ない」と思えますが、電磁調理器では見た目は変わりませんが、使用中や使用後はさうとう熱くなっています。分らずに触ってしまったり簡単にやけどしてしまいます。

## ▼グリル付きコンロ

調理器の上は触りにくいですが、グリルは低い位置で、触りやすい場所にあります。危険な高温になりますので、小さな子どもがいる家庭では使わない方がいいです。

もし使うとしたら、子どもが近寄らない対策をしっかりとってください。

## ▼テーブルクロス

隠し芸大会ではありませんが、子どもたちはテーブルクロスは引っ張るものだと思います（誇張があり、個人的意見ですが）。

夏場は食べ物をこぼしたくらいですむかもしれませんが、冬場の食卓は熱いものが多い。それらが頭の上から降り注いだら、大きなやけどになるのは想像に難くありません。

テーブルクロスは使わない方が無難です。

## ▼ストーブ

裸火のストーブはやけどの元。使うとしたら、しっかりガードをしたりして近寄らないように対策を。お尻にファンヒーターの吹き出し

口と同じ横方向のやけどをした子を時々見かけます。風呂上がりに裸でお尻を乾かそうとしていたのかな？ 裸火のストーブは室内空気の汚染も生じます。FF式（強制吸排気、室外の空気を取り込み、排気ガスは室外へ放出する方式）の物を。あるいは、エアコンを使ってください。

## ●救急処置

もしやけどをしてしまったら・・・ 大きな事故なら救急要請を！

比較的小さなやけどなら、まず局所を冷却します。流水で最低15分、できれば30分。しっかりクーリングすることで、やけどが深くなるのを防いでくれます。衣服の上からでもいいです。

ただ、冬場なので体全体が低体温になると別の問題が生じます。市販の冷却材は不向きです。

その上で医療機関に向かいます。かかりつけ医に連絡をしてください。

子どもたちの周りは危険だらけ。「想定外」のことを想定して、事故が起きないように努めてください。